

各 位

会 社 名 株式会社 石井 工作 研究所
 代 表 者 名 代表取締役社長 石井 見 敏
 (コード番号・6314)
 問 合 せ 先
 役職・氏名 取締役総務経理部長 辻 野 治 弘
 T E L (097)544-1001

業績予想との差異、業績予想の修正及び期末配当予想の修正並びに 特別損失の発生に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成24年8月9日に公表した業績予想及び期末配当予想について下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。また、平成25年3月期第2四半期において、下記の特別損失を計上することになりましたので、併せてお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正等について

平成25年3月期第2四半期(累計)個別業績予想との差異(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四 半 期 純 利 益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	1,500	10	20	10	1.29
第2四半期累計期間実績 (B)	1,116	△169	△158	△223	△28.79
増 減 額 (B-A)	△384	△179	△178	△233	
増 減 率 (%)	△25.6	—	—	—	
(ご参考) 前 期 第 2 四 半 期 実 績 (平成24年3月期第2四半期)	1,147	△247	△224	△194	△24.99

平成25年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四 半 期 純 利 益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	3,200	34	54	34	4.37
今 回 修 正 予 想 (B)	3,000	△125	△110	△185	△23.80
増 減 額 (B-A)	△200	△159	△164	△219	
増 減 率 (%)	△6.3	—	—	—	
(ご参考) 前 期 実 績 (平成24年3月期)	2,352	△428	△389	△363	△46.76

修 正 理 由

当社の売上げの9割強を占める半導体関連事業においては、IT投資抑制や買い控えの影響が大きく、PC、携帯電話、TV等の従来型セット製品の需要が低迷しており、DRAM等汎用半導体の製造装置の受注が伸びず、パワー型半導体製造装置の受注に注力しましたが、半導体メーカーでは設備投資には慎重な姿勢に変化しており、第2四半期累計期間の売上高は前回(平成24年8月9日)発表致しました予想を384百万円(減少率25.6%)下回りました。

損益につきましては、引き続き経費節減を図っておりますが、受注及び売上げの伸び悩み、価格引下げ圧力も強く、営業損失は前回発表の予想に比べて179百万円増加し169百万円となりました。経常損失は前回発表予想に比べて178百万円増加し158百万円となりました。四半期純損失は特別損失の計上もあって前回発表の予想に比べて233百万円増加し223百万円となりました。

通期の業績予想につきましては、引き続き厳しい受注競争を強いられませんが、第2四半期累計期間に比べてパワー型半導体製造装置の受注増加が期待されることから、売上高は増加するものと予想しております。しかし、半導体業界の設備投資回復力は弱く、売上高は前回発表の予想を200百万円下回って3,000百万円(減少率6.3%)に修正いたします。

損益につきましては、受注条件が厳しく、営業損失は125百万円(前回予想比収益減少額159百万円)、経常損失は110百万円(同164百万円)、当期純損失は185百万円(同219百万円)に修正いたします。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回発表予想 (平成24年8月9日発表)	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 10.00	円 銭 10.00
今回修正予想	—	0.00	—	5.00	5.00
当期実績	—	0.00	—		
前期実績 (平成24年3月期)	—	0.00	—	5.00	5.00

修正理由

前述のとおり今期の業績予想は、総力をあげて挽回に努めておりますが、収益を計上するまでに回復を望むことは困難な状況にあります。従いまして、期末配当につきましては、年間10円の配当を年間5円に減額いたしたいと存じます。

勿論、今後の業績推移や事業環境などを勘案し、年間10円に増額可能と判断出来る状況となりました際には、改めてお知らせすることとさせていただきます。

● 特別損失の発生及び内容について

投資有価証券評価損の計上

「投資その他の資産」に区分される投資有価証券のうち、当社が保有する非上場株式について、発行会社の直近の財政状態及び今後の事業計画から実質価額を評価した結果、実質価額が著しく低下したため、「金融商品に関する会計基準」にもとづき投資有価証券評価損として30百万円を特別損失に計上いたしました。

※ 上記記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

※ 将来の事象に関わる記述に関する注意

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以 上